

科目名	人間と社会（論理的思考B（政治経済の論理）） Humans and Society（Logical Thinking B: Logics in Politics and Economy）						
科目担当者	吉田 成哉 YOSHIDA Seiya						
単位数	2	配当年次	1年	授業形態	講義	開講学期	後期
履修学部・学科 [区分]	法学部・法律学科 [総合教育科目 総合講座] 経営学部・経営学科 [総合教育科目 総合講座]					ディプロマポリシーとの関連	(1)(4)
授業の概要	<p>現代社会におけるその運用としての政治・経済の論理と仕組み、問題点について、考察します。「国際社会の中の日本の役割」を基軸に、授業を展開します。多面的な視野を培うために、様々な統計・資料を提示していきます。</p> <p>学ぶべき分量に対し、時間的な制約がありますので、皆さんの自学自習の姿勢が不可欠です。</p>						
授業の到達目標	<p>① 現代社会における政治・経済についての基本的な知識を培います。</p> <p>② 国際社会における日本の役割について着眼し、論理的に主体的に考察できる力を養成します。</p> <p>③ 戦後のブレトンウッズ体制以降の国際社会・国際経済にも考察を広げ、総合的に考える見識を培うことを到達目標とします。</p>						
授業計画・内容	1	政治①：民主政治の基本原則（i）東西冷戦の時代					
	2	政治①：民主政治の基本原則（ii）ソ連崩壊後の世界					
	3	政治②：日本国憲法と人権保障（i）自由権・社会権					
	4	政治②：日本国憲法と人権保障（ii）新しい権利					
	5	政治③：日本の政治制度（i）55年体制の政治					
	6	政治③：日本の政治制度（ii）55年体制以降の政治					
	7	政治④：国際政治と日本（i）集団安全保障と日本					
	8	政治④：国際政治と日本（ii）国連と日本					
	9	経済①：経済理論（i）近代経済学					
	10	経済①：経済理論（ii）政治経済学					
	11	経済②：日本経済（i）高度経済成長期					
	12	経済②：日本経済（ii）低成長期					
	13	経済③：国際経済（i）IMF・IBRD					
	14	経済③：国際経済（ii）GATT・WTO					
	15	経済④：南北問題と先進国の役割					
授業外学修 (事前学修)	事前に配付されたレジュメを読んでおいてください。（毎週2時間程度） 先行研究については、適宜、紹介します。						
授業外学修 (事後学修)	Moodle上に、講義終了後、毎回、「講義概要」を掲載します。板書事項を含め、補足説明を記載しています。それをベースに復習・講義の要点をまとめてください。（毎週2時間程度）						
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法					評価比率	到達目標との対応
	定期試験 授業中のレポート課題（2回）					70% 30%	①、② ①、②
成績評価基準	<p>秀：（評点90点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合</p> <p>優：（評点80点～89点）到達目標を高い水準で達成している場合</p> <p>良：（評点70点～79点）到達目標を一定の水準で達成している場合</p> <p>可：（評点60点～69点）到達目標を最低限の水準で達成している場合</p> <p>不可：（評点60点未満）到達目標に達していない場合</p>						
教科書	レジュメを適宜配付します。						
参考文献	適宜、指示します。						
その他							